

Vol.180 「学校制服の詰襟・セーラーの評価」

近年、学校制服のブレザー化が進んでいます。ブレザーを採用する背景には、その学校らしさを象徴するデザインや色・柄・エンブレムなどを用いて学校の個性を引き出したり、ジャケットの着脱が容易であるため温度調整がしやすかったり、服装で男女を区別しない配慮などがあります。では、旧来からある詰襟（学ラン）・セーラーは、どのように思われているのでしょうか？今回は、全国の中学・高校の子どもを持つ母親1,200人を対象に詰襟（学ラン）・セーラーの評価と、お子様に着せたい制服のタイプについて調査しました。

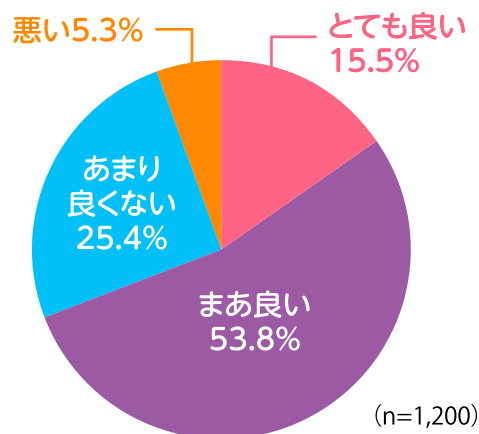


調査概要

調査対象：全国の中学・高校の子どもを持つ母親
1,200人
調査方法：インターネットリサーチ
実施時期：2020年11月

Q 1. 詰襟（学ラン）の評価

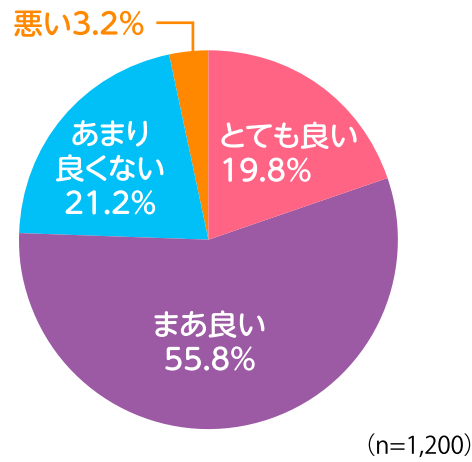
全国の中学・高校の子どもを持つ母親の詰襟（学ラン）の評価は、「とても良い」（15.5%）、「まあ良い」（53.8%）を合わせると、約7割が良いと回答しています。



【図1】 あなたは、制服の「詰襟（学ラン）」をどのように思いますか。（単数回答）

Q 2. セーラーの評価

セーラーの評価は、「とても良い」(19.8%)、「まあ良い」(55.8%)を合わせると、8割以上が良いと回答していることから、制服として良い印象を持たれているという結果がわかりました。

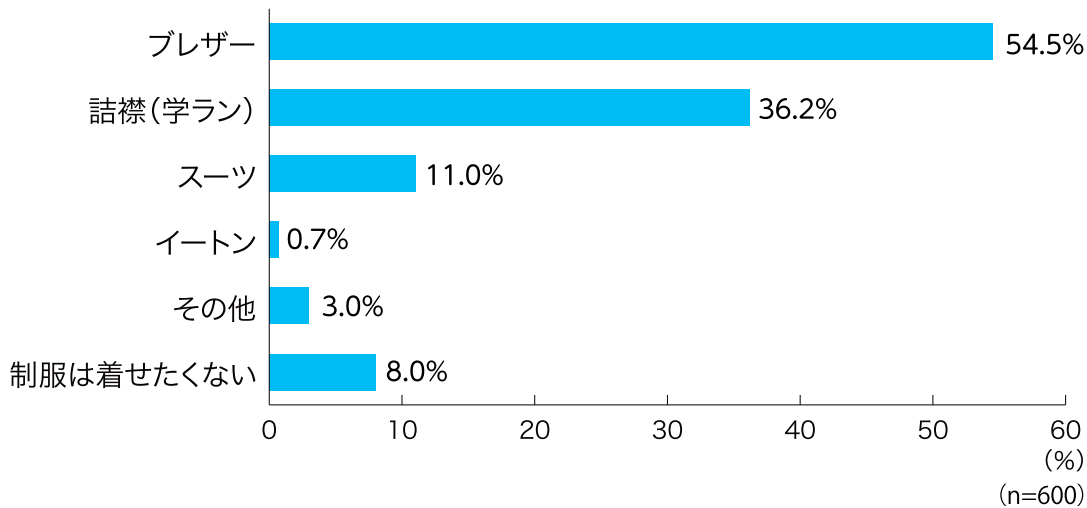


【図2】 あなたは、制服の「セーラー」をどのように思いますか。(単数回答)

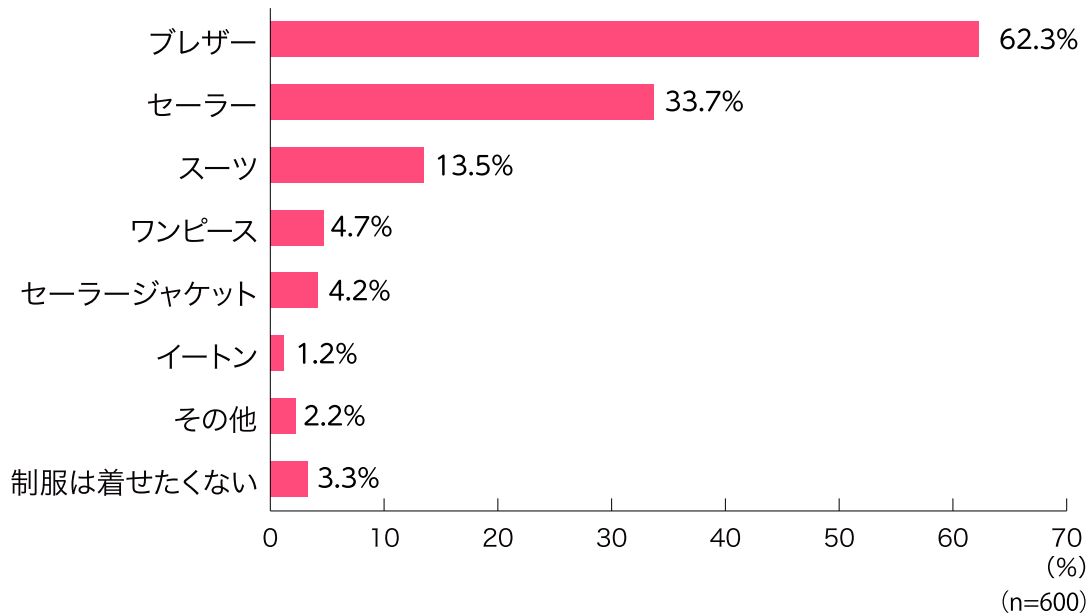
Q 3. お子様に着せたい学校制服のタイプ

男子中高生の子どもを持つ母親が子どもに着せたい制服は、「ブレザー」(54.5%)が最も多く、次に「詰襟(学ラン)」(36.2%)でした。女子も男子同様に「ブレザー」(62.3%)が最も多く、次に「セーラー」(33.7%)、「スーツ」(13.5%)、「ワンピース」(4.7%)や、ブレザーの衿部分がセーラー衿になっているタイプの「セーラージャケット」(4.2%)など様々なタイプの制服が着せたいタイプとしてあげられました。

【男子中高生の子どもを持つ母親】



【女子中高生の子どもを持つ母親】



【図3】 あなたがお子様に着せたい学校制服のタイプ(冬服)は何ですか。(複数回答)

 **まとめ**

日本で初めて詰襟・セーラーが登場した時代は諸説ありますが、大正時代には詰襟・セーラーともに学校制服として採用されていることから、詰襟・セーラーは100年以上の歴史を有する日本の制服文化と言えます。

今回、全国の中学・高校の子どもを持つ母親を対象に詰襟(学ラン)・セーラーについて調査したところ、詰襟(学ラン)は、「とても良い」(15.5%)と「まあ良い」(53.8%)を合わせると約7割が良いと回答し、セーラーは、「とても良い」(19.8%)と「まあ良い」(55.8%)を合わせると8割以上が良いと回答しています。現在、詰襟・セーラーともに、学校制服として良い印象を持っている母親は多いということがわかりました。一方で、お子様に着せたい学校制服のタイプとしては、男子「ブレザー」(54.5%)、女子「ブレザー」(62.3%)が最も多く、ブレザータイプが支持されているようですが、詰襟・セーラーは3割以上(3人に1人)が子どもに着せたい制服として回答していることから根強い人気はあります。

学校制服は、1980年代から高校でのブレザー採用が急増し、2015年の文部科学省の通知における「性同一性障害に係る児童生徒に対する学校における支援の事例」の中で、服装への対応として「自認する性別の制服・衣服や、体操着の着用を認める」とされたことから、ここ数年はブレザータイプを採用する学校が増加しています。学生時代にしか着られない学生らしい伝統的な詰襟・セーラーや、多様な機能・効果を兼ね備えたブレザーなど、学校制服文化は進化しています。

毎月最終
火曜日
更新

カンコーホームルーム ～学生を読み解くデータ集～

カンコーホームルームは、学生を取り巻く環境や子どもたちの意識・ライフスタイルについて、多角的に調査・分析し、その結果をお届けしています。
ホームページでは、今回ご紹介した調査データ以外にも様々な情報を掲載しております。

<http://kanko-gakuseifuku.co.jp>